

ブユ類

| アオキツメトギブユ ^{せいちゆう} 成虫 発生時期 | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---|---------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|--|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| | | ←—————→ | | | | | | | | | | |

ブユ類^{るい}の成虫^{せいちゆう}は、ヒトから吸血^{きゅうけつ}します。

外見^{がいけん}は小さいハエ^{ちい}に似た虫^{むし}です。触角^{しゅっかく}が

数珠状^{じゆずじょう}（写真参照^{しゃしんさんしやう}）で、体^{からだ}がずんぐりとしています。

ヒトを好^{この}んで吸血^{きゅうけつ}して被害^{ひがい}を与える種類^{しゅるい}は、アオキツメトギブユ、ヒメアシマダラブ

ユやアシマダラブユ、ウシブユ、オオブユなど数種類^{すうしゅるい}

がありますが、県内^{けんない}には上記^{じょうき}の3種類^{しゅるい}（桃色^{せいそく}）が生息^{せいそく}していることがわかっています。



アオキツメトギブユ 成虫 4mm内外
(甲府市北部で被害が発生した)

被害・症状

ひどく腫^はれる、いつまでも痒み^{かゆ}がとれない、化膿^{かのう}をおこすなど、蚊^かに比べて

症状^{しょうじょう}が重^{おも}くなることがあります。化膿^{かのう}や発熱^{はつねつ}などの症状^{しょうじょう}がみられる場合は、

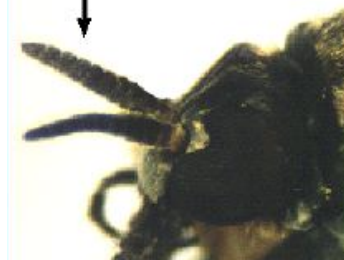
医師^{いし}の診察^{しんさつ}を受けましょう。

予防

農作業^{のうさぎょう}やキャンプ^{やがいかつどう}などの野外活動^{とき}をおこなう時は、肌^{はだ}を出さない衣服^{いふく}を着ま

しょう。また、虫除けスプレー^{むしよ}を使用^{しやう}しましょう。

ブユの触角



生態

ブユ幼虫は、河川などの水の中で生活しています。蛹になってから約1週間後に羽化をして、成虫になります。



上：アオキツメトゲブユ 幼虫 4～5mm
下：蛹 4～5mm

■ どんな場所で幼虫は生活しているの？

幼虫は、流れの早い小川に発生します。

このため、山村や高原の観光地などで被害が多発します。特に、アオキツメトゲブユの生息する範囲は広く、人家近くの河川に生息し被害を与えることがあります。

<参考>

プラスチック製のゴミや枯れ草などの表面が滑らかな物体に幼虫や蛹が付きやすいので、ゴミや枯れ草の除去をおこなうことで、大量発生をある程度おさえられる効果があると考えられます。

■ 成虫はいつ活動をするの？

日の出や日没前後に集中することが多いですが、曇りの日には日中でも活動をします。



<参考図書>

やまなしけんふくしほけんぶえいせいやくむか やまなしけんえいせいこうがいけんきゅうしょ にちじょうせいかつしゅうへんむし
山梨県福祉保健部衛生薬務課・山梨県衛生公害研究所：日常生活と周辺の虫たち（2001）